



# 下田市議会だより

- P 1 9月定例会総括
- P 2～3 令和4年度決算について
- P 4 総務文教委員会審査報告
- P 5 産業厚生委員会審査報告
- P 6～8 市政を問う一般質問
- P 8 議案等の審議結果
- P 9 下田高校との取組・編集後記

11月  
令和5年  
(2023)  
No.88



*New!*

下田市議会×下田高校  
コラボレーション企画始動!

※詳細は9ページ(裏表紙)

## □ 9月定例会総括

会期を9月13日から10月4日までの22日間とし、決算10件、条例3件、補正予算10件、報告3件、人事2件、その他3件、意見書1件の32議案が上程されました。また、一般質問では7名の議員が15件の通告内容に基づき、市政全般の課題等を問いました。

9月定例会は、前年度の決算認定について審議するため、8名の議員からなる決算審査特別委員会を設置し、関係する審査資料の提出を求める等、現地視察を含め7日間にわたり慎重な審査を行いました。

本定例会における各派代表者会議では、各会派より提出された3件の意見書について協議し、「安全・安心な海水浴場の管理運営を求める意見書」の提出について、全会派一致となりました。なお、本会議最終日には、議会運営委員長を提出者に、各派代表者を賛成者とする同意意見書提出の議案を上程し、全議員が賛成し可決されました。（※下記のとおり）

本定例会では、報告議案以外の令和4年度決

算、令和5年度補正予算、意見書提出等の29議案を原案どおり認定・可決しました。

なお、議第42号「下田市役所の位置に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について」は、地方自治法第4条第3項に基づき、法定出席議員数を議員定数の半数以上とし、成立数を出席議員（議長を含む）の3分の2以上とする「特別多数議決」でありました。同位置条例の一部改正については、これまで議会でも現状に即した見直しを強く求める意見がありましたが、表決の結果は反対2名に対し、賛成11名で可決となりました。

また、令和5年度一般会計補正予算（第4号）に対し提出された、静岡県が実施する港湾整備改修事業（下田港内港の浚渫）への負担金を減額する修正案並びに、令和5年度下水道事業会計補正予算（第1号）に対し提出された、公共下水道事業計画策定業務委託の債務負担行為を削除する修正案は、どちらも賛成少数により否決されました。

### 意見書

#### 安全・安心な海水浴場の管理運営を求める意見書

令和5年、静岡県では54の海水浴場が開設された。平成以降、海水浴場の来遊客数は減少傾向にあり、下田市内の海水浴場では平成6年の約118万9千人から、コロナ禍前の令和元年で約41万3千人、令和4年で24万1千人と大幅に減少している。海水浴場の管理運営については、来遊客数や海水浴場事業収入の増減等に関係なく、水難事故防止や公衆衛生等の安全・安心を一定の水準で維持していかなければならず、今後は海水浴場の管理運営に、静岡県の財政的な支援が必要であると考えます。

また、下田市では、30年以上にわたり、白浜大浜海水浴場における条例違反営業や海水浴場周辺を含めた客引き等が横行し、社会秩序の維持に苦慮している。一層の治安維持を推進していくには、これまで以上に静岡県並びに静岡県警察の全面的な関与が必要であると考えます。

改正海岸法では、総合的な視点に立った海岸の管理義務が強化され、これまでの目的である「災害からの海岸の防護」に加え、「海岸環境の整備と保全」と「公衆の海岸の適正な利用の確保」が追加された。海岸管理者は、海岸環境の整備と海岸利用者の安全確保にいつも留意しながら、その職務を遂行することが求められている。また、静岡県迷惑行為等防止条例は、公衆に著しく迷惑をかける行為等を防止し、もって県民生活の平穏を保持することを目的としている。

よって、下田市議会は静岡県に対し、次のことに取り組むよう強く要望する。

- 1 海水浴場を管理運営する自治体に対し、財政支援を行うこと
- 2 海水浴場とその周辺における客引き等の迷惑行為を規制できるよう、静岡県迷惑行為等防止条例などの改正を行うこと

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年10月4日

静岡県知事 川 勝 平 太 殿  
静岡県警察本部長 大 原 光 博 殿  
静岡県公安委員会委員長 稲 田 精 治 殿

静岡県下田市議会

# 令和4年度決算の審査について

9月定例会では、令和4年度各会計の決算について審査しました。審査内容の一部をご紹介します。

## 新型コロナウイルス感染症対策

令和4年度についても、新型コロナウイルス感染症への対応及びエネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者支援を目的とした、国県支出金10億6,474万3千円が交付され、感染症対策、経済対策等の事業が実施されました。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金は3億8,617万8千円の交付を受け、38事業に4億1,250万7,077円が支出されています。

主な事業	概要	事業費
学校給食管理運営事業賄材料費 幼稚園・保育所・認定こども園賄材料費 民間保育所給食費補助金	小・中学校、幼稚園、保育所、認定こども園の給食費8月分から3月分の無償化	7,102万4,752円
原油価格・物価高騰対応事業者支援給付金事業	原油価格、物価高騰の影響を受ける事業者に対し5万円又は3万円を給付	5,139万円
子育て世帯応援給付事業	高校生までの児童を養育する世帯に子ども一人当たり3万円を給付	6,430万4,721円
下田市観光協会補助金 (OTA等コロナ対策分)	オンライントラベルエージェントを活用した宿泊を伴う誘客活動	2,500万円
下田市観光協会補助金 (メディアプロモーション分)	近隣県におけるメディアプロモーションやキャラバン、旅番組等の誘致	2,800万円

その他、低所得者対策として、住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業補助金2億4,446万円、物価高騰対策として、電力・ガス・食料品等高騰緊急支援給付事業補助金1億6,310万円の交付を受けました。

## 新庁舎建設推進事業

旧稲生沢中学校校舎の改修工事設計業務を1,661万円で委託するとともに、公開ヒアリングにおいて最優秀者に選定された業者と下田市新庁舎建設設計業務の契約が1,793万円で締結されました。

また、平成29年10月に策定された、下田市新庁舎建設基本計画の改訂版が策定されました。現庁舎については、令和8年度までの利用を考慮し、耐震補強計画・補強設計業務が495万円で実施され、その成果を基に、耐震補強工事が1,171万5千円で実施されています。

## ふるさと応援寄附

ふるさと応援寄附は、新規返礼品の拡充やふるさと納税サイトの追加等により、前年度比1,040件、5,866万6千円増の12,254件、3億5,411万7千円の寄附がありました。返礼品の売上げについては、下田旅行・宿泊無期限旅行ポイント6千円分が2年連続1位となりました。

## 夏期海岸対策

白浜大浜海水浴場における無許可での営業行為や風紀の乱れに対し、夏期海岸対策協議会原田支部によるサービス拡大、パトロール強化、防犯カメラの設置などが実施されるとともに、浜地内に警備員を配置し、条例やルールへの周知、違反者への注意が行われました。

## 鳥獣被害対策事業

賀茂猟友会下田分会に70万4千円で鳥獣駆除の委託をし、実績に対する報償費には648頭分339万円が支給されました。

その他、電気柵、防護柵等の購入に20件、108万7千円の補助金が交付されるとともに、狩猟免許の取得補助金として1件、3万円が交付されました。

下田市有害鳥獣対策協議会に対して578万9千円の補助金が交付され、鳥獣被害対策の協力を得るとともに、捕獲通知システムを活用し、捕獲確認作業の負担軽減が図られました。また、地域ぐるみで鳥獣対策を図るため、鳥獣対策の専門家を招き、講演会が2回行われました。

狩猟免許の取得推進、里山整備などを含め、更なる事業の推進を求めました。



## 道路維持事業

市道の維持補修工事13件が3,888万3千円で実施されました。

また、緊急自然災害防止対策事業債を活用し、市道鷓島大浦線落石防止工事を998万8千円、市道鷓島大浦線法面修繕工事を9,999万円で実施されました。

道路等の社会資本は市民生活を支えるものであり、今後も適切な維持管理が望まれます。



【市道鷓島大浦線落石防止工事】



【市道鷓島大浦線法面修繕工事】

## 下田中学校の開校

下田中学校については、令和3年度までに整備工事が完了し、4月13日には、旧4中学校区から通学する全校生徒417人の出席のもと、市内唯一の中学校となった下田中学校の開校式が挙行されました。

生徒は新しい環境の中で生き生きと自分の力を発揮しています。

また、新中学校開校にあたり、15の部活動が設置され、全国2例目となるサーフィン部が創設されました。



【開校式】



【登校する生徒たち】

## 市民文化会館改修工事

市民文化会館は、建築から30年以上が経過し、老朽化が顕著となっているため、大ホールの天井改修、舞台制御盤の取替え、音響設備の改修、客席の修繕、舞台幕の更新等が2億6,883万852円で実施されました。

今後施工される工事についても、工期を短縮し、市民の利用に供することを求めました。



【市民文化会館】

## 公共用地取得特別会計

旧下田グランドホテル用地購入（土地14,453.38㎡、建物8,046.77㎡）として100万円が支出されました。後年度に負担が想定される解体、跡地活用経費等については、財政負担を軽減するため、新たな財政支援の可能性を検討し、国・県補助金等を活用するよう求めました。



令和5年9月定例会での主な審査項目です。

## 総務文教委員会

### 条例改正 下田市役所の位置に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定

新庁舎新築棟の基本設計の作業が進み、体育館を含む新築棟と旧校舎活用棟の位置が概ね決定したため、下田市河内46番地の1（旧稲生沢中学校北側用地）から、下田市河内101番地の1に改めたものです。

河内101番地の1については、旧稲生沢中学校の所在地で、新築棟、旧校舎活用棟、体育館棟の3棟の玄関部が含まれることから決定したものです。

今後は、令和6年度に旧校舎活用棟へ先行移転し、令和7年度末に新築棟の建設工事が完了し、令和8年度に開庁する計画です。

### 新庁舎用備品購入（債務負担行為） 計1億500万円

庁舎用 6,700万円 議会用 3,800万円

令和6年度に旧校舎活用棟に先行移転を予定している議会、市長・副市長室、企画課、総務課等の現庁舎本館に配置する各部所で使用する備品を購入します。

庁舎用備品については、職員用事務机・椅子・キャビネット、会議室用テーブル・椅子、窓口カウンター等、議会用については、議場及び委員会室用の机・椅子等で、令和5年度は入札、契約のみを行い、令和6年度に納入、支出を行います。

### 新庁舎等建設推進事業 計1億5,986万円

新庁舎整備工事（旧校舎活用棟）9,000万円の増額

令和6年度に旧校舎活用棟に先行移転する議会関係各室、市長・副市長室等、議場システムの構築、館内共聴設備の整備、内装等の追加整備を行うもので、当初予算の7億円から7億9,000万円となります。

新庁舎整備工事（外構）6,000万円

旧稲生沢中学校北側用地を駐車場として使用するための路盤整地工事（1,200㎡）と水路整備工事を行います。

新庁舎敷地内温泉等調査業務委託300万円

新築棟の消費エネルギー削減のため、敷地内の温泉及び井戸水の活用可能性を探るもので、ボーリング調査等必要な調査を行います。温泉が活用できる場合は、冬場の暖房等の熱源として活用する予定です。



【新庁舎のイメージ（基本設計概要資料より）】

### 交通安全対策事業 自転車用ヘルメット購入費補助金 10万円

道路交通法改正により自転車利用時のヘルメット着用が努力義務化されたことに伴い、ヘルメット着用の推進を図るため、自転車用ヘルメット購入費補助金を交付します。

補助率は購入費の1/2、補助金の上限は2千円で、50人分を見込んでいます。

### 学校給食管理運営事業 備品購入費 223万3千円

学校給食センター開設（平成28年度）以来使用し続けている給食用角皿が劣化しているために、新たに購入するものです。



令和5年9月定例会での主な審査項目です。

## 産業厚生委員会

### ● 条例改正 下田市農林水産物処理加工施設条例を廃止する条例の制定

今年度をもって、下田市農林水産物処理加工施設（加増野ポーレポーレ）を廃止する条例です。

### ● 市有財産（建物）の譲与について

加増野ポーレポーレは、平成11年に開設、平成18年から指定管理され、地元の方が中心となり、蕎麦打ち体験、みそ加工体験、石窯ピザ体験、農業体験等を行ってきました。少子高齢化に伴い事業の継承者もない事を踏まえ、地元、加増野区との協議の結果、農林水産物処理加工施設を廃止し、一般社団法人加増野に譲与することとしました。

来年度以降は、加増野区のコミュニティ施設として活用されます。



【加増野ポーレポーレ】

### ● 伊豆'Sライフスタイル推進事業 下田市産業人材育成業務委託 165万円

地域産業をリードするコア人材を養成し、新たな事業展開の推進により地域活性化を図ることを目的とするものです。

DXやマーケティング、情報発信等、時代の変革に沿った知識の習得や地域活性化マインドの醸成を図るためのセミナーと、地域の課題解決、新規事業展開等を目的とした参加者交流プログラムを実施します。

### ● 災害医療体制強化推進事業 153万3千円

災害時における遺体安置所の設置のための訓練を静岡県危機管理局、医師会、歯科医師会の協力を得て旧稲梓中学校で行うものです。

救護所用備品としてテーブル、カラーコーン、コーンウェイト、脚立等の購入を行います。

### ● 県営港湾事業負担事務 港湾整備改修事業負担金 2,300万円

河川から流れ込み堆積する土砂により下田港の水深が浅くなり、船舶の航行に支障をきたすことから、浚渫作業の事業費を一部負担するものです。

### ● ごみ減量・資源化推進事業 計76万円

消耗品費 34万7千円 モニター用生ごみ処理機器作製業務委託 41万3千円

黒土を利用し、生ごみを処理する生ごみ処理機器（キエーロ）大小合わせて45台を作製するものです。

### ● 公共下水道事業計画策定業務委託料（債務負担行為） 2,600万円

令和5年度から6年度の2年間で、令和7年度から令和11年度までの5年間に今後整備する箇所の具体的な下水道事業計画の策定を委託するものです。

# 市政を問う一般質問



下田市役所ホームページから「一般質問」で検索していただくと各議員の一般質問の動画視聴・会議録の閲覧ができます。

一般質問



## 長友くに 議員



【動画】



①東日本大震災からも12年以上がたち、防災意識をもう一度高める必要があるのではないか。◎高齢化への対応は？◎南海トラフ大震災の津波対策は？◎災害時の情報伝達は？デマや誤情報を防ぐ工夫はあるか？◎災害時の周辺自治体や友好自治体との連携は？◎身近な危険場所の点検は？

- ①関東大震災100年に当たって…もう一度防災意識を高めよう！
- ②下田市ごみ問題について…市民の協力でごみゼロ運動を！



【会議録】

②市民の協力で生ごみ・プラスチックゴミ・紙・布などを減らし、現在の2倍の広域ごみ処理施設など作らなくていい状況を作る方法はないのか？京都の「しまつのこころ条例」にならって、ゴミの行く末にまでしっかり目をとどかせた指針を作っていく必要があるのではないだろうか。生活環境影響調査の報告書が発表されたが問題点が多い。建設前にもう一度検討が必要ではないか？

## 岡崎大五 議員



【動画】



①平成4年に制定された「下田市海水浴場に関する条例」は、制定から30年が経ち、効力が発揮できずに、条例違反業者の違反行為を許す現状となっている。同時に、市職員のオーバーワークを誘発し、下田市行政に大きなダメージとなっている。そこで、今こそ静岡県、静岡県警と協力して、抜本的な条例改正をするべきであると強く申し入れた。  
②今夏の静岡県警下田署との連携で、特殊詐欺や

- ①「下田市海水浴場に関する条例」の改正について
- ②防犯と防災の現状について
- ③帯状疱疹流行の兆しと予防ワクチン補助について
- ④つながる下田～関連政策の今後について～



【会議録】

暴力団排除に関する防犯対策がどのように行われたのか。また5月15日の豪雨被害の復旧状況と孤立集落対策についてたずねた。  
③50歳以上の3分の1の人が罹患する帯状疱疹は、人によっては、酷い痛みが長期化する。健康寿命の観点からも、予防ワクチン接種は有効で、補助金の予算化を提言した。  
④姉妹都市における子供たちの交流促進、教育旅行の可能性、スポーツ合宿誘致のための体制づくりを提案し、インターナショナル・スクール誘致の進捗状態についてたずねた。

## 大西將由 議員



【動画】



①「ひとづくりと生きがいづくり」を主題に、まちの活性化や、将来の住みよいまちの在り方という点で、「世界一の海づくり」を標榜する下田市がこれから取り組もうとしている「サーフタウン構想」についての今後の展望を確認しました。また、プロ野球、広島東洋カープの秋山翔吾選手の自主トレーニングをはじめとする、トップアスリートを招いてのひとづくりや子どもたちの育成、トップアスリートの誘致の継続性及

- ①スポーツ振興について
- ②健康づくりについて



【会議録】

び文化芸術における著名な方を招いた市民向けの講習会等に関する今後の考えについて質問しました。  
②いつまでも活躍の場があり、健康でいるためには、できるだけ早い年齢から生活習慣病や疾病対策を心がけることが重要であることから、特定健診をはじめとする健康診断の受診率向上や生活習慣病予防の対策として、市民向けにどのような取組を行っているか、またその評価及び今後の考えについて質問しました。

## 江田 邦明 議員



【動画】



- ①「ごみの減量化・資源化」は住民や事業者と行政が協働して進めていくもので、十分な情報提供や意識啓発が求められます。「循環型社会の形成に向けたごみ排出量抑制」と「南伊豆地域広域ごみ処理基本構想」に対する令和4年度産業厚生委員会の意見について、これまでの検討状況と取組内容、今後の方針について問いました。
- ②キエーロは臭いや虫の発生が少なく、投入後も堆肥が増えない等、手間がかからないことから

- ①循環型社会に向けたごみ排出量抑制について
- ②キエーロ（生ごみ自家処理容器）の取組みについて



【会議録】

全国各地で普及しています。竹パウダーコンポスト事業の進捗状況、黒土を利用した生ごみ処理器モニター事業の進捗状況、家庭用生ごみ処理機器購入費補助金の申請状況を確認し、その普及方法等について提言しました。

令和3年度 (出典：環境省)	1人1日当たりの排出量 (単位：g)		
	合計 (①+②)	①生活系ごみ	②事業系ごみ
下田市	1147.2	617.7	529.5
伊東市	1288.5	773.9	514.5
掛川市	622.6	490.1	132.5
県内平均	938.5	668.9	269.7
全国平均	890.0	635.6	254.4

## 楠山 俊介 議員



【動画】



- 【海について】 下田の宝であり、観光経済の要である「海の魅力化・活性化」にとって、通年型の活用、整備が必要です。宮崎青島ビーチパークを参考にすべきです。吉佐美大浜においてグラウンド、隣接施設と一体となった整備、スケボーパーク・トイレ・シャワーの整備を提案します。また、吉佐美舞磯浜の不法占用と思われる状況の早期解決を要望しました。
- 【山について】 有害鳥獣対策において「捕獲」「防護」とともに、人の住む場所と獣の住む場所の間に

### 「海」「山」「まち」「ひと」の課題について



【会議録】

「緩衝帯」を作ること、里山整備が必要です。計画の推進を提案しました。  
 【まちについて】 まちなかのにぎわい再生、歩いて楽しいまちづくりにおいて「食」をテーマにしたまちの魅力・楽しさを発信していくことが必要です。下北沢カレーフェスタを参考にすぐに皆でできる新たな仕掛けを提案しました。  
 【ひとについて】 まちの課題解決には「ひと」が必要です。そのために地域おこし協力隊の多数の募集採用を提案します。また、集落支援員制度の導入により各区の課題解決に対応すべきと提案しました。

## 柏谷 祐也 議員



【動画】



- ①学校施設について  
各学校の現地視察を行い、校舎や設備の老朽化に伴い、様々な箇所で不具合や事故が生じている状況について、修繕及びリスクマネジメントの計画的実施を求めるとともに、配膳室や給食における衛生基準やマニュアル等の確認、さらには6月定例会での土屋議員の一般質問でも触れられた特別教室へのエアコン設置の必要性について質問しました。
- ②教育デジタル教材について

### 現在の教育環境について



【会議録】

- ICT活用が推奨される中、電子黒板等機器の老朽化が進み不具合等が起こっている現状について、今後次々に新しい機材に対応していくために、費用の平準化を図る意味においても、購入ではなくリース等を検討するよう求めました。
- ③複式学級について  
少子化の現状、複式学級増加傾向の中、決められた県教職員の配置で2カリキュラムの学習指導は困難であるため、教育環境の維持向上の観点からも必要に応じた臨時講師の配置を求めました。



スマートフォンでQRコードを読み取ると各議員の一般質問の動画視聴・会議録の閲覧ができます。



沢登英信 議員



【動画】

- ①海水浴シーズンの実態と海水浴場の健全かつ安全な運営のために
- ②広域ごみ処理計画の中止を求めて
- ③新庁舎建設について



【会議録】

- ①白浜大浜海水浴場の暴力団等、違法営業者の排除が求められています。市職員とボゾの警備員、警察官は協力してパラソルやサマーベッドの違法営業、客引き、注文取り等の迷惑行為をどのように取り締まったのでしょうか。浜地内は酒類の販売など商売させる場所ではありません。
- ②1市3町のごみ焼却炉を133億円もかけ敷根地区に新築する必要がないこと。生活環境影響調査の結果からもダイオキシン等の発生による環

境破壊が心配されること。浄化槽汚泥年間774トンの焼却計画は見直すこと。今ある焼却炉を使い切り、その間にごみを減らし、燃さない方式を住民とともに実現することを求めました。

③新庁舎の延べ床面積6,500㎡とされていますが、5,000㎡程度として、基本計画での建設費18～22億円とすること。また先行移転は見直すこと。国道414号との接道は防災上も必要で、接道の実現を求めました。

令和5年9月定例会 審議結果

番 号	議 案 件 名	審 議 結 果
認第1号～10号	令和4年度下田市一般会計歳入歳出決算認定について【他9会計決算認定】	認 定
報 第 6 号	令和4年度決算に基づく下田市健全化判断比率の報告について	議 決 不 要
報 第 7 号	令和4年度決算に基づく下田市公営企業の資金不足比率の報告について	議 決 不 要
報 第 8 号	債権放棄の報告について	議 決 不 要
諮 第 1 号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	適 任
議 第 39号	下田市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意
議 第 40号	和解について	原 案 可 決
議 第 41号	損害賠償の額を定めることについて	原 案 可 決
議 第 42号	下田市役所の位置に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	原 案 可 決 (特別多数議決) <sup>※2</sup>
議 第 43号	下田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原 案 可 決
議 第 44号	下田市農林水産物処理加工施設条例を廃止する条例の制定について	原 案 可 決
議 第 45号	市有財産（建物）の譲与について	原 案 可 決
議第46号～55号	令和5年度下田市一般会計補正予算（第4号）【他9会計補正予算】	原 案 可 決
発議第3号	安全・安心な海水浴場の管理運営を求める意見書の提出について	原 案 可 決

《賛否の分かれた議案》

(○：賛成 ×：反対 欠：欠席 -：退席)

番 号	9月定例会議案件名	柏谷	大西	浜岡	土屋	長友	天野	岡崎	楠山	中村	渡邊	鈴木	沢登	江田	審議結果
認第1号	令和4年度下田市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	×	○	○	○	/	○	○	×	○	原案可決
認第4号	令和4年度下田市公共用地取得特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	×	○	○	○	/	○	○	×	○	原案可決
議第42号	下田市役所の位置に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	×	○	○	○	○ <sup>※1</sup>	○	○	×	○	原案可決 (特別多数議決) <sup>※2</sup>
議第46号	令和5年度下田市一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	×	○	○	○	/	○	○	×	×	原案可決
	令和5年度下田市一般会計補正予算（第4号）（修正案）	×	×	×	×	○	×	×	×	/	×	×	○	×	否 決
議第49号	令和5年度下田市公共用地取得特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	×	○	○	○	/	○	○	×	○	原案可決
議第55号	令和5年度下田市下水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	×	○	○	○	/	○	○	×	○	原案可決
	令和5年度下田市下水道事業会計補正予算（第1号）（修正案）	×	×	×	×	○	×	×	×	/	×	×	○	×	否 決

※1 通常、議長は可否同数の裁決以外は表決に加わりませんが、議第42号は特別多数議決のため表決に参加しました。

※2 特別多数議決とは、地方自治法第4条の定めにより、庁舎の位置を定める条例は出席議員の3分の2以上の多数による議決が必要となるものです。



発行 下田市議会  
編集 広報委員会  
住所 下田市東本郷一丁目5番18号

TEL 0558-22-2220  
FAX 0558-27-1511  
E-mail: gkaijin@city.shimoda.lg.jp

広報委員会  
委員長 鈴木 孝  
副委員長 岡崎大五  
委員 天野美香 江田邦明  
土屋 仁

## 下田市議会×下田高校 コラボレーション企画始動！

下田市議会では、これまでも「いかに市民との距離を近づけるか」を課題とし、「下田市議会だより」の紙面改革に取り組んできました。今年度に入って、さらに一步踏み込んだ形となったのが本号です。表紙を美術部と写真部、題字を書道部とコラボレーションしてまいります。高校生の若く伸びやかな感性が、議会に清新な風を吹き込んでくれるのものと確信しています。さらに、より多くの市民の皆様手に取っていただくことで、「開かれた議会」として前進できるのではないかと期待しています。

地方政治は、市民の皆様生活に直結します。より皆様との一体感を醸成し、皆様の率直な思いや声を、下田市政に反映させたいと考えています。表紙をご覧ください、まずはこの「変化」に驚かれるかもしれませんが、新しく変わる下田市議会の試みとして、お含み置きいただければ幸いです。

下田高校写真部は、1年生6人、2年生4人で活動しています。コンクールへの写真撮影や、月に一度の下田市内での撮影会を通じて、下田市の魅力を発信しています。県高校写真コンクールでは、応募総数1,546枚の中から3作品が入選しました。これからも素晴らしい写真を撮るために頑張りますので、応援よろしくをお願いします。



写真部



題字を担当させて頂きました下田高校書道部です。「市議会だより」で最初に目に入る題字を書かさせていただくことはとても光栄です。上手に書けるかどうかの不安もありましたが、なかなかないこの機会を楽しませて頂きました。今後も様々な字体で題字を書いていきますので楽しみにして頂けると嬉しいです。

書道部

下田高校美術部は、2年生と1年生11人が所属しています。私たちは現在、静岡県東部展というコンクールに向けて、作品の制作に没頭しています。今回制作している作品は、絵画、デザイン、石膏造形、金属造形など様々です。部員各々が作りたいものを決めて、時間の許す限り完成を楽しみにしながら情熱を注いでいます。



美術部

### 表紙の情報

表紙題字 下田高校書道部  
表紙絵 下田高校美術部



11月ということで、秋を感じさせる色のオレンジやブラウンでまとめました。さらにデザインには「食欲の秋」、「芸術の秋」、「読書の秋」という3つの秋を取り入れました。「市議会だより」を少しでも多くの人に手に取って貰うことを願い、柔らかく絵本を思わせるようなタッチで表現しました。

### 編集後記

猛暑であったこの夏。日本の四季は有り難いもので、日に日に寒く感じられるようになりました。下田市議会だよりにおいては、今号より、下田高校の美術部・書道部・写真部の生徒さん達に協力をお願いし、市民の皆様により親しみご愛読いただけるようリニューアルしました。生徒さん達の個性あふれる作品もご覧いただき、是非これまで以上にたくさんの方々手に取っていただければ幸いです。  
(天)

下田市議会の活動に役立てるため、市民の皆様の声電話・メール・FAXで右記（欄外記載の連絡先）までお寄せください。



- この広報誌は、ユニバーサルデザインをコンセプトに開発された可読性・視認性・判別性に優れたUDフォントを使用しています。
- この広報誌は、再生紙を使用しています。

議会HP

